地域と大学連携のケーススタディ

大学のまち京都推進会議

◆―――――― 目　　次 ――――――◆

はじめに ・・・ 1

1．「京都市基本計画」（2001 年 1 月）にみる地域と大学関連施策 ・・・ 2

2．行政区における施策と取組事例 ・・・ 2
(1) 北区における取組
(2) 上京区における取組
(3) 左京区における取組
(4) 中京区における取組
(5) 東山区における取組
(6) 山科区における取組
(7) 下京区における取組
(8) 南区における取組
(9) 右京区における取組
(10) 西京区における取組
(11) 伏見区における取組

3．大学における地域と大学連携のケーススタディ ・・・ １８
(1) 地域連携のための担当部門・部署の設置について
(2) 地域連携課題が大学改革課題へどのように位置付けられているのか
(3) 地域への施設開放の状況
(4) 具体的な地域連携事業
(5) 地域連携事業の取組について
(6) 地域と大学・短期大学の連携についての課題整理
(7) 大学と地域との連携事例

4．大学地域連携モデル創造支援事業 ・・・ ２７

5．国公私立大学を通じた大学教育改革の支援 ・・・ ２８

6．地域―大学の交流・連携支援ライブラリー ・・・ ２９

7．都市再生プロジェクト「大学地域連携まちづくりネットワーク」 ・・・ ３１

8．大学と地域との連携窓口一覧 ・・・ ３２
(1) 各行政区の基本計画担当窓口一覧
(2) 各大学の地域連携窓口一覧

はじめに

地域と大学の連携推進は、地域や都市のまちづくり・活性化において重要であるのみではなく、大学の側からは大学改革、大学創造の取組において非常に重要な課題となってきている。しかし、地域と大学の連携事業については、全国的に見た場合、いくつかの先進事例が報告されているが、多くは地方都市における１大学から数大学を中心とした取組の事例紹介となっている。

京都地域には数多くの歴史と特色を持つ 50 の大学・短期大学が集積しており、また歴史と伝統と産業がバランスよく共存している日本でも有数の「大学のまち」であるとともに、「観光都市」「文化都市」である。2007 年度「大学のまち京都推進会議」では＜「学生のまち」および地域連携推進システムの構築＞を主な推進課題に据え、大学と地域の連携が「大学のまち・京都」の発展に寄与するための事例研究を行った。ここで紹介する京都における地域と大学連携の事例が、今後のまちづくり、大学創造の参考となれば幸いである。

「地域と大学連携のケーススタディ」では、最初に、2006 年度に実施した「区役所ヒアリング」で得られた情報を下に、行政区レベルで地域と大学連携により取り組まれている事例を紹介する。ケーススタディの紹介については、最初に「京都市基本計画」（2001 年 1 月）を受けて各行政区で策定された区毎の「基本計画」における大学関連施策を紹介し、次に具体的な取組事例を紹介する。

次に、2007 年度に京都地域の大学を対象として実施した「地域と大学・短期大学との連携についてのアンケート」調査の結果を紹介する。ここでは、公表を可とした大学・短期大学の地域連携窓口の一覧も紹介しているので、今後の取組に活用いただきたい。

最後に、京都市が実施している「大学地域連携モデル創造支援事業」および国レベルでの取組である「国公私立大学を通じた大学教育改革の支援」、「地域－大学の交流・連携支援ライブラリー」と「都市再生プロジェクト　大学地域連携まちづくりネットワーク」の取組を紹介する。

１.「京都市基本計画」（2001 年１月）にみる地域と大学関連施策

個別の行政区の施策を紹介する前に、「京都市基本計画」における地域と大学関連施策は以下のとおりである。

３　大学の集積・交流が新たな活力を生み出す

国公私立を合わせて 37 の大学・短期大学を中核とする高度で豊富な学術研究機能は京都の優れた都市特性であり、人口の約１割に相当する学生や教員、研究者等の多彩な人材、あらゆる分野の「知」の集積は、活力あるまちづくりに欠かせないものである。

この個性豊かな大学の集積を維持・発展させるとともに、地域社会との交流や産業界との連携を深め、魅力に満ちた「大学のまち・京都」を推進する。

（１）個性豊かな大学の集積を生かした交流の場づくり

・(財) 大学コンソーシアム京都への支援強化

・大学のまち交流センター（キャンパスプラザ京都）を核とした交流の充実

（２）産学公の連携の推進

・産学公の連携による起業・就業支援

・大学の枠を越えた共同研究の支援

（３）地域に開かれた大学づくりの促進

・地域への大学の開放促進

・地域との人的交流の促進

（４）大学施設整備への支援

（５）大学・学術研究機関の振興

・大学・学術研究機関の整備支援

・芸術系大学の振興

（「京都市基本計画」（2001 年１月）第２章第２節より）

２．行政区における施策と取組事例

次に、行政区毎の施策と取組事例をみていく。

（１）北区における取組

①北区基本計画における大学施策

学生が集うまち

北区には、大谷大学、京都産業大学、佛教大学、そして立命館大学の４つの大学があり、多くの学生が住むまちです。近年、地域とこれらの大学の連携が芽生えつつありますが、学生のなお一層の地域活動への積極的な参加や、大学と地域との継続的な交流を進めることにより、学生が集い、まちににぎわいと活力を生む取組を進めていくことが求められています。

●大学と地域の相互交流の促進

学生が区民として生活するために必要な情報の大学における継続的提供や、学生の地域コミュニティへの参加機会の拡大、また、区民が参加できる大学公開講座の充実など、大学と地域との相互交流を促進します。

○区内に住む学生への生活関連情報の継続的提供

・大学における、地域生活の手引き、関連資料の配布

○学生の地域活動等への参加機会の拡大

・行政窓口の設置や、関連機関による連絡協議会の設立など、大学と地域との緊密な連絡体制の確立

・ふれあいまつり、体育祭、生涯学習、防災・防犯など多様な地域活動への学生参加の促進

・学生ボランティア・サークルによる地域活動の促進

○区民が参加できる大学公開講座の充実

②具体的な取組事例

＜北区　地域と大学つながるネット＞

北区の４大学と地域の皆様との相互交流を図るため「北区　地域と大学つながるネット」を 2006 年 9 月に開設。これは、各地域において事業（一斉清掃、まつり、スポーツ大会等）を主催する団体が学生の参加を希望する場合、区役所が地域と各大学において登録されている学生団体との橋渡し役を担うとともに、区民の皆様が参加できる各大学主催のイベントや公開講座等を市民しんぶんや北区イベント情報等及び区役所１階に設置しているパンフレットスタンドで紹介し、地域の皆様に広く参加を呼び掛けるもの。

開設以来、学区社会福祉協議会や育友会、町内会等から学生団体への参加申し出があり（14 件）、落語研究会や奇術研究会、和太鼓や人形劇等のサークルが地域の事業に参加している。

（２）上京区における取組

①上京区基本計画における大学施策

学術文化のまち上京

こうした歴史・伝統・文化の蓄積を背景に、上京区には同志社大学、同志社女子大学、京都府立医科大学、また、京都市の歴史研究の拠点となる歴史資料館、さらに埋蔵文化財研究所及び考古資料館などがあり、学術・文化の拠点としての役割を果たしている。

多くの研究者や学生が区内で生活し、地域と結びついた活動に取り組むとともに、国際的な学術文化交流も盛んに行われている。

（プロジェクト）

構想１　成熟した市民文化の息づくまちづくり

○伝統的な町家の保全・再生・活用促進システムの確立

・研究：町家ラボラトリー　（大学の出張研究室、地域研究の拠点、教育等）

構想３　自治と福祉のまちづくり

○若者からお年寄りまで、みんながボランティア

・学生ボランティア等の参加の仕組みづくり

○学生と区民の交流・連携の仕組みづくり

・学生ボランティアとの協働のまちづくりなど

②具体的な取組事例

＜上京歴史探訪館＞　同志社大学

「上京歴史探訪館」は、上京に関する歴史・文化情報やイベント情報を広く発信するため、上京区民・同志社大学・上京区役所が協力して 2005 年 10 月に設立した。

（場　所）京都市上京区下立売通智恵光院西入

（開館日）３月～５月、７月～11 月の金曜日～日曜日

また、web ページには、「時間旅行」（各時代 MAP）、「上京案内」（歴史データベース、博物館・資料館案内）、「上京交通案内」、「上京を知る図書館」のコンテンツがある。

＜上京を歩く（上京区散策マップ）＞　同志社大学

上京区では、上京区の歴史や文化に触れることのできる散策マップ「上京を歩く」を発行している。この散策マップは、上京区役所のホームページでもダウンロードができる。

○　上京区基本計画の構想である「文化」をテーマに歴史や文化資源に身近にふれることのできる散策ルートを紹介。（「上京を歩く」その１）

○　上京区に各時代ごとに重層的に存在する歴史的に重要な場所や文学の舞台となった場所に身近にふれることのできる散策ルートを紹介。（「上京を歩く」その２）

同志社大学の先生の監修の下、同大学等の学生が編集したもの

＜散策マップ「西陣を歩く」及び上京歴史講座「西陣の魅力へようこそ」＞　同志社大学

上京歴史探訪館では、上京区の西部にあたる西陣地区に残るエピソード性の高い歴史遺産と、西陣地区の特徴であるものづくりや産業に注目して紹介する散策マップ「西陣を歩く」を発行するとともに、同マップの発行を記念して上京歴史講座「西陣の魅力へようこそ」を実施

○　散策マップ「西陣を歩く」（2007 年 2 月発行）
　同志社大学の先生の監修の下、同大学等の学生が編集

○　上京歴史講座「西陣の魅力へようこそ」（2007 年 6 月実施）
　同志社大学の先生等を講師に３回の講座を実施するとともに、現地を同大学の先生と学生の案内の下に散策した。

＜「京都どまんなか　未来へ伝える上京智恵袋プロジェクト」＞　同志社大学

上京区で生活しているボランティアひまわりの皆さんとの連携を通じて、「日頃の生活の中で培ってきている京都の文化をさまざまな形で記録し、発信していくプロジェクトとして、冊子「上京の智恵と文化」を発行した。

＊「平成１７年度大学地域連携モデル創造支援事業」採択事業

＜コミュニティーキャンパス北野＞　佛教大学

愛称「ゆいまーる」

北野商店街と連携を行っている佛教大学の学外キャンパス、フリースペース。学生の活動を始め、商店街との共同企画・イベントなどにも活用されている。

ふだんは北野地域に関わる写真や資料などを常時展示しており、誰でも買い物の行き帰りに、気軽に立ち寄り、休憩・歓談できるようになっている。

＜でまちになじむ＞　立命館大学

学生と商店街が協力をして、地域の魅力を伝える取組を推進

地域の中に入っていき「まちづくり」を学ぶゼミ生が企画・運営するイベントの一つ。

でまちになじむは、「出町の魅力をもっともっと知ってもらいたい！」というテーマで、2004 年の春に乾ゼミの学生の企画で開催された。参加者は付近に住んでいる大学生、町に昔から住んでいる人など。

（３）左京区における取組

①左京区基本計画における大学施策

左京区の魅力を高めるまちづくりの課題

左京区には多くの大学が立地し、その周辺地域では大学とともに形成され発展した‘学生のまち’があります。近年、大学の市外流出等が論議されているなかで、地域が大学とともに生きるために、また、大学が地域とともに生きるために、互いにどのように関わっていくかを考えていく必要があります。

文化資源、文化施設などに恵まれ、また、国立京都国際会館をはじめ国際的な施設や大学等が多く立地している左京区では、外国人観光客など海外からの来訪者、留学生として滞在する外国人など外国籍区民が区内を行き交います。来訪者・外国籍区民双方に対してのホスピタリティとして、持てる国際性をさらに高めた国際的なまちづくりを進めていくことが望まれます。

左京区の魅力を高めるまちづくり

●在住者も来訪者も楽しめる、多彩で魅力にあふれる買物環境の整備促進

○商店街と地域住民、大学・学生等を交えたまちづくり活動の展開

▽学生が参加する商店街づくりの展開

▽空き店舗等を活用した大学講座や実験室、研究室の展開

●まちづくりにおける大学・学生との協働の推進

区民と大学・学生が気軽なコミュニケーションを通じて学びあう「まちぐるみ大学やまちぐるみ研究室」の展開など、様々な地域活動において大学や学生・留学生が協働できるまちを目指して、大学と地域の相互交流を促進します。

○大学と地域の相互交流の促進

○「大学のまち・左京（仮称）」の推進主体となる研究会・協議会の設置

○「まちぐるみ大学・まちぐるみ研究室」活動の展開支援

▽空き店舗等を活用した大学講座や実験室、研究室の展開

○商店街と地域住民、大学・学生等を交えたまちづくり活動の展開

○大学施設のオープンキャンパス化の促進　等

●国際的なまちづくりの推進

○国際交流関連施設・大学と地域との連携強化

重点プロジェクト「大学のまち・左京の推進」

数多くの大学・大学関連施設が集積する区として、大学のまち交流センターなどによる取組と連携し、大学と地域が協働して取り組むまちづくり活動「大学のまち・左京（仮称）」の推進に向けての体制づくり、モデル事業の展開などに取り組みます。

②具体的な取組事例

＜左京区　大学と地域の相互交流促進事業＞

大学と地域とのさらなる交流を図るために実施するもので、大学と左京区民の協働による事業や大学と左京区民とが交流できる事業に対して、助成金の交付や支援をしている。2004 年度からの取組で、当初の助成対象は３件だったが、2006 年度からは助成対象を５件に拡充している。

（2007 年度採択事業）

＜楽しく学んで、おいしく食べる健康食＞　京都府立大学　人間環境学部食事学研究室

メタボリック・シンドロームの予防、改善のための食生活の基礎について、管理栄養士養成課程の学生とともに楽しく学ぶ。学生の作った健康食を食べ、バランス食や減塩の意義について学ぶ。

（11 月 27 日に開催されたセミナーで参加者の皆さんが試食した「メタボ対策弁当」～栗赤飯、ねぎ鶏の酢い蒸し、ニラレバおやき、柿入り日和え、菊花大根・銀杏、れんこん団子）

＜学校教育の中で地域の文化遺産の保存とその活用法を探る＞　京都造形芸術大学

小学校で収集・保管されている農具等の民俗資料を地域の文化遺産として伝え、活用していく。区内全ての小学校を対象に実態調査と結果の分析を行い、学校関係者や地域の人に「効果的な見せ方・伝え方」を知ってもらうために展示・ワークショップを行う。

＜介護予防・転倒予防に関する区民教室の開催＞　京都大学　医学部保健学科

介護予防・転倒予防に関する講演及び簡単な運動実践を行う。高齢になっても健やかで豊かな生活を送るための体力づくり・健康増進に関する研究の成果を区民に広く還元する。

＜KITASHIRAKAWA 地元学マップ作成会議事業＞　KITASHIRAKAWA 地元学マップ作成会議

京都造形芸術大学と郷土史研究家が連携し、北白川地域の歴史・文化、暮らしについて、現代、近代、近代以前の各時代ごとに読み解き、「KITASHIRAKAWA 地元学マップ」を制作する。地域住民との「まちあるき」も実施する。

（「まちあるき」で発見したことを共有し，マップ作りを進めるメンバーの皆さん）

＜左京中部南地域の安心交流拠点化へ「たんけん・たいけん・まちはっけん」＞
松ヶ崎はっけん実行委員会（京都工芸繊維大学、松ヶ崎小学校）

松ヶ崎地域の主要な通学路である北山通を実際に歩き、街路環境に改善すべき課題がないか調べる（たんけん）。成果の情報交換等を行い記録資料を作成する（まちはっけん）。最終的に、平面版と立体版の「安心はっけんマップ」を作成する。これらを通じて主体的に参加し、体験を共有し合う（たいけん）。

（2006 年度採択事業）

事業名	申請団体	事業概要
古文書の生きる町づくり	大原古文書研究会	大学生との協働により、大原に残る古文書の研究を行い、町づくりに活用した。また、古文書の研究と活用を促進するため、デジタル化を進めた。
山の環境保全を考える～伝統行事からの	広河原松上げ保存会	区内の大学の農学部等で学ぶ学生と共に松上げの準備作業を行い、その経験を通して山

考察～		や森林の実態把握と環境保全についての考察を行った。
竹林再生のためのネットワーク創出事業	京都精華大学 竹屋プロジェクト実行会議	放置竹林の問題点や竹の活用方法等について、地域住民や学生を対象に約半年にわたって連続講座を開催した。また、近隣の放置竹林の伐採や竹を使用したものづくりワークショップや製品化を推進した。
防災教育	ＫＩＤＳ 京大防災教育の会	主に小学生を対象に災害や防災に関する知識を伝える活動を行う。地域の模型作りも体験し、それを用いて災害時に取るべき行動を一緒に考えた。
左京区に望まれる新しい区庁舎イメージの発掘	京都工芸繊維大学 大学院	学識者の知見や区民のニーズを総合し、新庁舎建設に向けて、景観、市民参加、教育、防災等の各分野において、区民の要望を探り、新庁舎イメージを形成する。また、市民公開型のシンポジウムも実施した。

（2005 年度採択事業）

事業名	申請団体	事業概要
大原エコミュージアム計画・作品展および発表会	京都造形芸術大学	大原地区を対象とする地域計画として大学生たちが取り組んだもので、現地でのインタビューや作品の修正を行い、９月下旬に地域住民に向けて作品展や発表会を開いた。
子どもたちの自由な発想を育む芸術活動	京都精華大学 アーバントラップ	９・11・１月の３回にわたって、芸術を学ぶ大学生たちが区民と一緒に遊具や遊ぶ空間等を作ることを通して、子どもたちに「物を作る楽しみ」を伝えた。
スーパーの行う環境対策：優良モデルの探し出しと広報	ごみ削減プロジェクト実行委員会（京都大学）	大学生たちが区内の小・中学校で環境に関する授業を行い、小・中学生とともにスーパーへ出向いて環境対策を調査する。また、優良モデル等を紹介するイベントを開いた。

（2004 年度採択事業）

事業名	申請団体	事業概要
はーやくめをだせ？？？の種 ～生ゴミリサイクルを目指して～	葵エコクラブ・ 京都府立大学	家庭の生ゴミを回収して堆肥化し、それを用いて付属の農場で作物を育てている（秋に収穫祭を予定）。食の循環を体験することで、環境問題や地域交流を再考した。
多世代の交流による参加型造形ワークシ	京都造形芸術大学	11 月に、大学のある瓜生山にて地域の大人や子ども、教員、学生等が、その自然環境を

ョップ		体感しながら素材を見つけて造形制作を行い、自由な表現で交流を図った。
SAGA７シンポジウム～アフリカ・アジアに生きる大型類人猿を支援する集い～	SAGA７シンポジウム京都事務局・京都大学	11月に、大型類人猿の現状や将来等に関するシンポジウムを開催する。今回は、環境教育をテーマの１つに掲げ、猿害問題、左京区の自然等についての講演を行った。

（４）中京区における取組

①中京区基本計画における大学施策

にぎわいのある中京の実現

●中京東部の商業・観光振興のまちづくり

○産官学民のパートナーシップによる中京東部の観光まちづくりを研究する

②具体的な取組事例

はんなり中京推進会

＜はんなり中京マップ二条城周辺、烏丸御池周辺　作成＞　京都府立大学協力

都市型観光の推進を目指すため、京都府立大学の協力を得て、周辺の歴史や名勝を紹介する観光マップを作成した。障害者や高齢者など誰もが安心して暮らせるまちづくりと来訪者を受け入れるもてなしの心を育むという観点から、駅案内図及び車椅子で利用可能なトイレ情報等も掲載した。

（５）東山区における取組

①東山区基本計画における大学施策

より広く、多彩な交流の推進

京都女子大学や華頂短期大学など、区内の大学と区民との交流を進める。

●国際交流の推進

○区民と外国からの留学生や来訪者との交流の推進

●区内の大学と交流の推進

○市民を対象とした公開講座の実施

○区民と大学との連携による催しや行事の実施

②具体的な取組事例

＜空家再生プロジェクト＞　京都大学、京都女子大学、京都工芸繊維大学

少子高齢化、人口減少が著しい東山区では、近年、空家が増加しつつあり、地域の安心・安全な生活への影響が懸念されている。空家の発生原因と再生に向けた課題を明らかにするため、2006 年度に六原学区を対象として全国都市再生モデル調査を実施した。調査にあたり、地元住民の協力とともに、区内・市内複数の大学から、教授、研究室、学生個人、様々な単位で協力が得られた。

○教　授　：調査委員会委員、住民意見交換会アドバイザー、シンポジウムでのコーディネーター

○研究室　：空家目視調査スタッフ（実施・集計・分析）、調査委員会とは異なる視点での調査分析作業（卒業論文等として）

○学生個人：住民意見交換会、実証的調査の体験モニター等としての参加

大学の協力・連携は、調査内容の充実・深化とともに、意見交換会やシンポジウムを通じ、地域の課題や魅力について地域住民自身に新たな気づきをもたらすなど様々な効果を生んだ。

＜京町家耐震改修実態調査＞　京都大学

京都大学防災研究所が、六原学区をモデルに「地域の防災と住宅の耐震補強に関するアンケート調査」を行う際、地域への調査結果の還元と取組中の安心安全の取組との連携を区役所から依頼した。

この結果、同研究所から調査結果について町内会長会で報告されたほか、六原いきいきネットワーク安・安部会で災害に強いまちをつくるための取組の一つとして、兵庫県三木市で行われた伝統建築の耐震性能を学ぶ研修会（「伝統木造振動台実験の見学会」）への参加を企画され、学区民 27 名が参加、住宅という身近な建物の安全性について考えるきっかけとされた。

＜すこやかサロン＞　京都大学

古川町商店街で京都大学医学部の教員によるお年寄り健康生活に関する無料の相談所「すこやかサロン」が開催されている。これをきっかけに、中高年向けの「すこやか健康講座」や健康維持に役立つ「１品ＰＲ」など健康づくりと商店街活性化の相乗効果への試みが続けられている。

＜地域の祭、行事への参加＞　京都女子大学

清水学区や貞教学区、修道学区などでは、夏祭りに京都女子

大学から「京炎！そでふれチーム」のメンバーを招き、京都学生祭典オリジナル踊りの披露や踊りのレクチャーなどを行い、地域の活気ある祭に一役買っている。

＜すこやか学級＞　華頂短期大学

ボランティアサークル「あんこ同好会」は月に２回、粟田学区の社会福祉協議会による「粟田すこやか学級」に参加し、配食サービス時の談話やレクリエーションタイムの企画・実施など地域と連携した取組を行い、学生の力を地域行事に取り込むとともに、学生の社会参加と地域を知る機会創出の場となっている。

＜東山区民ふれあいまつり＞　京都女子大学

2007 年度の区民ふれあいひろばでは、初めて「リユース（再利用）食器の導入」を企画・導入。運営ボランティアを募集し、多くの学生の参加を得て実施。①環境共生型まちづくり活動に関わる体験、②　幅広い年代の方との交流、③持続可能な社会の仕組みの一端の体験の機会創出の場となった。

＜ヒガシガシ＞　京都橘大学

東山青少年活動センターの情報誌「ヒガシガシ」の編集を京都橘大学の学生が中心となって行っている。

（６）山科区における取組

①山科区基本計画における大学施策

心ゆたかな暮らしをおくれるまちづくりの推進

●生涯学習・文化活動の支援

大学との連携を強化し、大学が擁する豊富な人材の活用や、区民と大学の交流の促進により、地域振興に関する学際的研究等を推進します。例えば、地域対策・観光振興・地域防災等の研究システムの確立、公開講座の開催、学生の地域活動への参加等の実施を検討します。

②具体的な取組事例

＜MY やましな（山科区ガイドマップ）＞　京都橘大学（2001 年度作成）

京都橘大学の教員・学生、公募による区民委員、区役所職員などで構成された「やましなマップづくり委員会」においてワークショップを開催し、企画の段階から区民、大学、行政のパートナーシップにより、山科区の生活ガイドマップが作成された。

区内の公共施設や道路・交通のほか、子育てを支援する施設や高齢者の生活を豊かにする施設の案内などの便利な情報を掲載するとともに山科の四季を彩る歳時記や史跡、自然、文化などのまちの魅力についてもイラストで紹介している。

＜ホップ・ステップ・マップ＞　京都橘大学（2002・2003 年度作成）

区内のコースガイドが欲しいとの声を受け、京都橘大学の教員・学生、公募による区民委員、区役所職員などで構成された「やましな“新”宝もの見つけ隊」が立ち上げられ、マップの作成に当たった。

約 1 年をかけて行われたまち歩きによる取材や編集によって作成されたマップには、区内各地に残る史跡・自然・祭・伝承などの地域資源を歩いてめぐるコースが掲載されている。

＜写真で語る山科の今・昔＞　京都橘大学（2004・2005 年度実施）

昔の山科の記憶を写真で残すとともにまちの歴史を学び、これからのまちづくりを考えるため、京都橘大学の教員・学生、公募による区民委員、区役所職員などで構成された「パッチリ山科みつけ隊」が、２年間に渡り、古写真の収集や取材活動を実施した。

その活動の集大成として写真集「モノクローム　ヤマシナ～未来へつなぐ山科の記憶」を作成。写真集では、宅地開発が進む以前のまちの様子や昔の学校の授業風景など、昭和の時代に大きな

変貌を遂げる山科の様子が約２００枚の写真と人々の
語りによって鮮やかに浮き彫りにされている。

＜ヤマシナグルメマップ＞　京都橘大学（2005 年度作成）

京都橘大学と山科商工会議所、山科料理飲食業組合が山科・醍醐地域の飲食店を掲載したイラストマップを協働で作成した。

マップには、飲食店の位置や連絡先のほか、一部のお店には紹介文が掲載されており、表紙及び地図のイラストは、京都橘大学の学生の手によって描かれた。

（７）下京区における取組

①下京区基本計画における大学施策

楽しく学びふれあう学習のまち構想

●成人教育・リカレント教育を充実する

○区民大学・区民講座の開設

区内の大学や事業者、大学のまち交流センター、伝統産業の団体などまちの人材と連携し、区民大学・区民講座の開設を目指します。

②具体的な取組

＜下京区門前町ルネッサンス＞　龍谷大学協力

区民や事業者と区役所が協働する下京・町衆フォーラムにより、東西両本願寺の門前町の魅力を伝えるため、伝統工芸の実演と体験をはじめとする様々なイベントを開催。龍谷大学西本願寺門前町総合調査チームが、「ＧＡＲＥ門前町絵画展」を開催するなど、多数の大学生が参加し協賛イベントの実施に協力している。

＜ＰＲ冊子「下京八景」＞　龍谷大学、池坊短期大学協力

区民自慢の景観を公募のうえ選定した「下京八景」を広く知ってもらおうと、ＰＲ冊子を作成するに当たり、募集したボランティアに多くの学生が参加。写真や俳句を公募・選出したＰＲ冊子「下京八景」を作成した。

＜下京区ふれ愛ひろば＞　池坊短期大学協力

子どもからお年寄りまで区民相互の交流とふれあいを深めることを目的に開催。池坊短期大学の学生・職員が「生け花体験」コーナーを実施して好評を得ている。

（８）南区における取組

①南区基本計画における大学施策

特になし

注：南区は 11 行政区中唯一大学がない地域である。

②具体的な取組

＜ガリバーマップ＞　立命館大学協力

吉祥院小学校体育館に 20 畳敷きの学区地図を準備し、参加者同士が好きな場所等を語り合いながら自由に書き込みを行い、地域への愛情のつまった地図作りを行った。

＜ガリバーの足跡訪ね＞

作成した「ガリバーマップ」を下に、まち歩きを行い、安心安全のまちづくりに向けた交流を実施した。

＜向こう三軒両々隣～安心安全の数珠つなぎ＞立命館大学協力

ご近所同士で安心安全に取り組む事業として「数珠つなぎマップ」を作成した。

（９）右京区における取組

①右京区基本計画における大学施策

大学などの教育・研究機関との連携の推進

右京区内には、大学などの教育・研究機関が多くあり、様々な人材や情報が集積しています。

特に、近年、福祉やまちづくり、観光といった、区民の暮らしに結びつく分野の研究活動が盛んになってきていることから、区民主体のまちづくりを推進するに当たっては、積極的に大学などの機関と連携を図ることが考えられます。

特に、学生のまちづくりへの参加は、地域の活動に活力と、新しい視点を持ち込むことが期待されます。

今後は、大学などの機関に対し、まちづくり活動などへの参加を呼び掛け、大学等と地域のネットワークづくりに努めます。

②具体的な施策

＜右京区まちづくり支援制度＞

区民が身近な地域を暮らしやすい魅力あふれるまちにしていくために、区民主体で取り組まれるまちづくり活動の経費を補助する制度。（１／２補助、20 万円以内）

（大学関係者が参加する採択事例）

○「住民と学生が行う市バス停留所「どこいこ化」計画」
（京都歴史回廊協議会　2006 年度）
○「愛宕古道街道灯し」
（京都嵯峨芸術大学「アタゴーズ」　2007 年度）
○「右京区のふるさとづくり～お城の調査」
（特定非営利活動法人フロンティア協会　2007 年度）

＜右京区民ふれあいフェスティバル＞

京都外国語大学のチアリーディング部による舞台発表　2006・2007 年度

＜右京区民文化フェスティバル＞

京都外国語大学のコーラス部による舞台発表　2006 年度

＜安心・安全・右京区民のつどい＞

京都外国語大学のチアリーディング部による舞台発表　2007 年度

（１０）西京区における取組

①西京区基本計画における大学施策

●多様な交流の推進
○国際的な交流
区内の学術文化機関、歴史資源など、地域の文化資源を活かし、日本文化と海外文化の交流活動や、留学生などの活動を支援します。
●生涯学習の推進
○学術文化機関と連携した生涯学習の展開
区内の学術文化機関と連携し、これらの機関と区民とのふれあいづくりを進めながら、生涯学習活動を展開します。
●文化芸術の振興
○「西山文化」を創造する取組の促進
区内の学術文化機関とも連携した学習講座の開設を支援します。
児童・生徒や大学サークルの作品発表の場の拡充など、区民の文化・芸術活動を支援します。

②具体的な取組

＜京都大学春秋講義＞　京都大学

市民向け講座「春秋講義」の一部について、桂キャンパスでの開催に当たり、市民しんぶん区版で告知し、多くの区民の参加を得た。

＜歴史探訪スタンプラリー＞　京都市立芸術大学

西京区 30 周年記念事業「歴史探訪スタンプラリー」に京都市立芸術大学芸術資料館収蔵品展が協力。

＜大枝アートプロジェクト＞　京都市立芸術大学

大枝の「ひと・もの・こと」と関わりながら、京都第二外環状道路の建設によって失わ

れる美しい自然・日常生活・歴史や伝説との新たな対話を促し、地域全体を芸術的資源として捉えなおす試みを行う。

（１１）伏見区における取組

①伏見区基本計画における大学施策

伏見区の姿

京都教育大学、龍谷大学、聖母女学院短期大学、種智院大学が立地し、広く区民との結び付きを強めていく取組などが進められています。

ふれあいと温もりのある、健康でいきいきと暮らせるまち

●文化、スポーツ、生涯学習活動の推進

○地域と大学の連携による区民の生涯学習の創出

まちづくりの取組

●シビックゾーンの整備と文教ゾーンの形成

大学などが立地する深草地域を文教ゾーンとして充実していくことを検討します。

○深草地域における文教ゾーンの検討

・大学コンソーシアムとの連携

・各大学・短期大学の公開講座への支援

②具体的な取組

＜きらり伏見区まちづくりプロジェクト会議＞龍谷大学、聖母女学院短期大学

「きらり伏見区まちづくりプロジェクト会議」は、伏見区とインターンシッププログラム協定を結んでいる龍谷大学経済学部の学生、聖母女学院短期大学の学生のほか、区民ボランティアや伏見区まちづくり懇話会推進部会委員等により構成されている。伏見区役所主催の事業の企画・運営などに主体的に関わることで、各事業のキーパーソンとしての役割を担い、また、地域住民との交流により地域特性を学ぶなど、まちづくりに関する基礎知識の体系的習得を目指す。2007 年度は総勢 45 名のメンバーで構成

○伏美ｅｃｏ市（2007 年度）

伏見桃山城運動公園の駐車場にて開催した、リサイクル・フリーマーケットを中心とする環境啓発イベント。2005、2006 年度は「伏見リサイくるっとフリマ」という名称で実施。プロジェクメンバーは、当イベントの企画・運営において中心的な役割を果たした。

○伏見区まちづくり交流パビリオン（2006 年度）

呉竹文化センターにおいて開催した、伏見区まちづくり支援事業の助成団体による活動報告会とパネル展示。プロジェクトメンバーは、司会進行など運営メンバーの一員として活躍した。

○いきいきタウン伏見／東灘（2005 年度）

伏見区同様、酒どころとして有名な東灘区（神戸市）と連携し、それぞれの魅力を発信するキャンペーンを共同で実施した事業。行政区同士が市域を超えて連携する珍しい試みである。プロジェクトメンバーは、イベントにおける伏見ブースの運営に参加した。

＜伏見区誕生７５周年伏見区政治・文化セミナー＞（2006 年度）

伏見区誕生 75 周年を記念して、呉竹文化センターにおいて、記念講演と区内各団体による企画で構成されたイベントを開催した。龍谷大学混声合唱団、聖母女学院中学校コーラス部が出演した。

＜深草文化交流＞　聖母女学院短期大学、京都教育大学

地域、小・中学校、高校、大学、行政の連携のもと、住民交流の場として、コンサート、演奏会、講演会、絵画展を開催した。

○2005 年度事業

・聖母学院中学・高校生徒によるハンドベル演奏
・聖母女学院短期大学教授による講演
・深草管内小学校児童による絵画展

○2006 年度事業

・京都教育大学生によるマンドリン演奏
・聖母女学院聖母教育文化センター所長による講演
・深草管内小学校児童・中学校生徒による絵画展

○2007 年度事業

・京都教育大学教授による講演
・深草管内小・中学校生徒による絵画展

３．大学における地域と大学連携のケーススタディ

2007 年度に、大学コンソーシアム京都加盟の 50 大学・短期大学を対象として「地域と大学・短期大学との連携についてのアンケート」調査を実施した。

ここでは「地域」を、大学をとりまくコミュニティにおける地域住民ととらえ、大学がどのような地域連携の取組を展開しているのかを調査した。

「アンケート調査」では、大学コンソーシアム京都加盟の 50 大学・短期大学を対象として、４年制大学と短期大学を一体的に運営している法人は１箇所への送付を行ったため、40 箇所へアンケート用紙を送付し、40 件の回答を得た。（回収率 100％）

回答の詳細は以下のとおりであるが、まず概略と特徴的な取組を紹介する。

（１）地域連携のための担当部門・部署の設置について

40 件中、窓口を一本化しているとの回答は４校であった。また、特に窓口を設定していない大学も４校あった。それ以外は取組毎に窓口が異なっており、外部から連携関連の相談を大学に持ち込む際には「どこに連絡すればいいのかわかりにくい」状況があることが伺える。（ケーススタディでの公開可は 28 校あり、最後に一覧表を掲載している。）

（２）地域連携課題が大学改革課題へどのように位置付けられているのか

本項目への回答は 40 件中 31 件であったが、大学改革に地域連携課題を位置付けていないとする大学は１大学のみであり、殆どの大学では大学改革課題に地域連携課題が、教育、研究に次ぐ第３の課題であると位置付けられている。また地域連携の位置付けは大きく、①地域における人材育成の視点、②大学の知的財産発信の視点、③教育の場としての視点、④地域活性化の視点があった。

（３）地域への施設開放の状況

地域への施設開放については、何らかの形でなされているが、そのあり方は多様である。国公立大学ではより開放の度合いが高いことが伺える。

図書館の開放については、一般市民への開放が半数程度であるのに対して、「京カレッジ生」への開放が広く認められており、京都地域における生涯学習事業推進の一つの魅力となるだろう。施設の貸与については限定的または有料貸与が行われている。博物館・美術館等はそれらの施設を有している場合、多くが何らかの形で無料入館を実施している。

（４）具体的な地域連携事業

市民公開講座は回答のあったほぼ全ての大学で取り組まれており、個別大学の特色を活かした講座が実施されている。地域の事業への教員の派遣についても具体的な要望に対応されており、また、政策策定の審議会等への参加も見られる。学生の派遣については、大学教学の特色を活かしたものを中心とした派遣やサークル・クラブとしての参加、ボランティア等がある。大学や地域でのイベントについても、大学の特色を活かした取組が推進されている。政策課題解決にむけ、大学としてオフィシャルに支援されている事例は少ない。

（５）地域連携事業の取組について

地域連携と関連した事業は大学の特色を活かしたもの、京都関連のもの、ボランティア関連のものが多い。（技術系のものは回答がなかった。）

地域連携予算については、一部外部資金を主としている大学はあるが、ほぼ全ての大学が自大学予算を充てており、公的補助金等の充当は少なく、予算面での改善を求める声も多い。

地域連携事業の学生への効果については、異年齢、異文化の中で社会性の獲得を指摘するものが多い。障害については、地域との移動時間、カリキュラムの過密さ、予算、地域が大学の事情を理解していない等が挙げられていた。

（６）地域と大学・短期大学の連携についての課題整理

今回のアンケート調査を通じて、ほぼ全ての大学で地域連携課題が重要な課題として位置付けられていることが明らかとなったが、地域連携に積極的に取り組んでいる大学と、課題としているものの大学の規模等によりほとんど取り組めていない状況である大学との二極化がみられた。

施設の開放や教員の派遣のみならず、地域が学生の教育の場としても位置付けられており、様々な地域活動が学生の学びの場であることが明らかとなった。大学の機能として、教育、研究の２つに加えて、地域貢献の重要さが認識されはじめている。特に、教育と地域貢献の密接な関係が明らかとなった一方、研究と地域貢献の関わりについてはまだ低い段階であるともいえる。それは研究と地域貢献としては、産学連携が一般的であると捉えられており、京都地域の大学特性、地域特性からくる関係の低さであるともいえる。

今後は大学と地域社会が相互の理解を深めるたにも、相互に情報発信を強化し、地域と大学の連携を強化し、まちづくりに活かしていくことが求められる。

（7）大学と地域との連携事例

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
京都大学	・京都大学春秋講義（春季・秋季の2回） ・京都大学市民講座 ・京都大学未来フォーラム	・各学部・研究所等の教員が独自に参加	・各学部・研究所等の学生が独自に参加	・各学部・研究所等が独自に実施（例：京都Neo西山文化プロジェクト）	・京都大学春秋講義（春季）の一部を本学桂地区で開催した際、広報について西京区役所に協力いただいた。				・各学部・研究所等の教員が独自に委員会等に参加
京都教育大学	・シニアそろばん教室 ・楽しい塑造教室		（財）京都府公園公社伏見公園主催「親子で歴史ウォーク」の講師	・ふれあい伏見フェスタ ・「うた」と「おはなし」の会 ・教科書展		公開講演会	フリーマーケット	地域の地蔵盆で人形劇	
京都工芸繊維大学	・環境科学センター公開講演会「緑の地球と共に生きる」 ・京都ブランド創生講義 ・機器分析センター市民講座	・京都府（工繊大丹後塾）及び京丹後市（KIT京丹後セミナー）が実施する公開講座への講師派遣 ・高大連携校への講師派遣	・京丹後市の工業団地で壁画作成 ・あじわいの郷（京丹後市）にウッドデッキを作成	・大学創立記念日事業 ・大学一日体験入学	京都府（工繊大丹後塾）及び京丹後市（KIT京丹後セミナー）との共催による公開講座	地元の小学校による大学探検	地域の小学生による作品展	地元小学生と一研究室が共同で行う作品展覧会	技術・経営相談会の開催
京都市立芸術大学	・公開講座，伝音セミナーの開催 ［美術学部・美術研究科］ ・サマーアートスクール（本学内，明倫自治会館，中京区役所） ・夏休み子供写生大会（動物園） ・卒業生作品展（京都市美術館，本学内）　等 ［音楽学部・音楽研究科］ ・音楽学部生による定期演奏会（京都コンサートホール，本学講堂） ・大学院生によるオペラ公演（本学講堂） ・卒業演奏会（本学講堂） ・親子で楽しむコンサート（ウイングス京都） ・「文化会館コンサート」（北文化会館） ・「ウエスティ音暦」（西文化会館） ・土曜こどものつどい ・竹取コンサート	・市立小学校への学長及び教員の出前授業 ・高大連携校への講師派遣 ・生涯学習公開講座 ・ワークショップへの講師派遣	・嵐山花灯路への学生作品展示 ・新林カーニバル（美術学部生による地元産の竹を使った作品の展示） ・四条ストリートギャラリー ・新林学区30周年記念式典コンサート　等	・京都大学桂キャンパス船井講堂記念コンサート ・京都大学桂キャンパス西山文化フォーラム	・西京ふれあいまつり ・地元地域活動への参加	・京都国立近代美術館ホワイエコンサート ・京都大学百周年時計台記念館クロックタワーコンサート ・ピアノ専攻学生によるクラシックピアノコンサート（企業共催・府民ホールアルティ） ・区主催ふれあい事業への参加（学生作品の出品，販売　学生のコンサート（アンサンブル）） ・図書館一般開放 ・地域へグランド開放	・地域への開催案内 ・学生オペラ・ミュージカル開放 ・小学生との共同創作・展示	・京芸大枝アートプロジェクト（地元長老の話しや地域を写真に収めるワークショップなどの地域活動） ・音楽学部演奏旅行（和歌山県内，西文化会館） ・小・中学校への絵画寄贈 ・新林小学校30周年記念コンサート	・産学連携による企業研究活動支援
京都府立大学	・桜楓講座 ・大学（地域学術調査研究センター）シンポジウム	・地域文化セミナー ・高大連携による事業（SSH,SPP等に基づく高校への協力）	教育委員会との包括協定による学生ボランティア		地域文化セミナー	・農場ユーカルチャーデー ・演習林野外セミナー		・環境共生教育による宮津市等丹後地域と連携した活動 ・地域の小学校への食育教育の支援	地域貢献のための学内競争研究費による研究実施
京都府立医科大学	・公開講座 ・健康セミナーなど	健康セミナー		公開講座	健康セミナー				
京都市立看護短期大学	市民公開講座								

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
池坊短期大学	・「いけばな」公開講座（毎年） ・「日本の伝統芸能」公開講座（2008年度）		・「まちなかを歩く日」に「いけばな展」「お茶会」を町家を借りて開催予定（2008年度）				「祇園祭」で、大船鉾のお囃子の演奏の為、本学施設を提供		
大谷大学・短期大学部	生涯学習講座	要望があれば対応	要望があればボランティア学生を紹介	講演会、写真展などの開催	湖西キャンパスに親子教室の開催など	・附属幼稚園における子育て講座の開催など ・地域運動会の運営支援（ボランティア）	フリーマーケット等の会場提供	・地域商店街のホームページ作成 ・地域子供会などへの人形劇等の開催	
華頂短期大学			・地蔵盆へのクラブ（児童劇クラブ、パネルシアタークラブ）参加	・華頂祭（地域の子どもを対象に「子どもデパート」を開催）	・白川清掃ボランティア（学生参加行事）を地域（クリーン白川の会）と協働		・近隣地域の人達を招待 ・子ども対象イベントの案内	・ボランティアクラブの「粟田すこやか学級」への参加 ・ボランティアクラブ、文化系クラブが地域へのイベントに参加：聴覚障がい児との交流	
京都医療科学大学・短期大学	・講演「がん診断の最前線」 ・講演「画像からの脳の形と働きを見る」 ・パソコン講座			・ゲートボール大会（園部ゲートボール協会主管による）	・ゲートボール大会（園部ゲートボール協会主管による）		・大学所在地の園部/南丹地域への学園祭開催の広報 ・学園祭同時開催のゲートボール大開催の広報 ・学園祭同時開催の講演会の広報		
京都外国語大学・短期大学	・教養講座 ・公開講座 ・ラテンアメリカ教養講座 ・ラテンアメリカ研究講座		・山王神社のお祭への参加 ・西院ミュージックフェスティバルへのボランティア参加 ・親子サッカー教室 ・こども国際クラブ ・国際理解学習	・子供異文化体験教室 ・夏休みこどもスポーツ体験ウィーク			・町内会が学園祭へ参加（盆踊り）		
京都学園大学	公開講演会、公開講座、土曜教養講座、市民パソコン講座	・亀岡市教育研究所：親子ふれあいサイエンスフェスタ ・亀岡市：南郷池水の庵	・防犯パトロール ・亀岡祭	・エコフェスタ ・TANBAサイエンスカフェ	・産官学連携　活かそう！地球資源inTANBA ・保津川開削400周年記念事業　フォーラム保津川		・フリーマーケットへの地域住民参加	・ボランティア研究会：地元養護学校や学童保育でのぼらんティアなど ・レクリエーション研究会：地元小学校での親子レクリエーションなど	・亀岡市との学術交流協定により、課題別の受託研究契約
京都経済短期大学	・外国人留学生による語学講座	・中学校、小学校主催の勉強会（授業）への講師派遣 ・地元企業、NPO団体主催の講演会への講師派遣	・小畑川清掃活動 ・お菓子クッキング ・小学校への補習講師派遣	・環境保全勉強会 ・教育と地域社会シンポジウム ・けいたん留学生交流会	・小畑川清掃活動	・京都市立洛西中学校学校運営協議会の理事就任	・地域への開催案内	・プロジェクト演習（年金を考えるプロジェクト、会計ソフト作成プロジェクト） ・IT講習実践	・洛西ニュータウン研究会の開催 ・洛西 地域研究の発行

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
京都光華女子大学・短期大学部	・公開講座（春期・秋期） ・光華講座、光華セミナー、研究会、聖典読書会 ・教養講座 ・キャリアアップ講座（情報教育関係資格取得の為の講座など） ・日本語検定3級対策講座	・児童館への講師派遣 ・保育園への講師派遣	・幼稚園、保育園への学生ボランティア派遣 ・高瀬川夏祭りへの学生ボランティア派遣 ・葛野児童館　こどもまつりへの学生参加 ・葛野児童館　放課後の活動への学生参加	・親子クッキング（年1回） ・親子を対象として遊びのプログラムの実施 ・屋上庭園での各種イベント		・京都大学医学部付属病院未熟児センター退院児の事後指導　学生ボランティア派遣			
京都嵯峨芸術大学・短期大学部	・連続公開講座「京の美意識」 ・嵯峨野文化サロン ・生涯学習講座 ・博物館・ギャラリー展示の公開 ・学生向け特別講座の一般公開 ・各種ワークショップやシンポジウムの開催	・地元小中高校生への作品制作指導、体験学習等 ・MOA主催右京区小学生の作品審査 ・各種観光プロジェクトへの講師派遣	・嵐山・東山花灯路 ・愛宕古道街道灯し ・太秦商店街、嵐山商店街等活性化プロジェクト ・各種地域イベントのモニュメント制作ボランティア等	・あらし山びこ（図書館による児童向けの読み語り会）	・太秦商店街、嵐山商店街等活性化プロジェクト	・制作展の公開	・フリーマーケット	・商店街活性化の各種プログラム	・各種観光振興プラン策定事業の受託
京都産業大学	・教養講座（有料） ・市民講座（無料） ・異文化交流プログラム ・スポーツ教室（弓道コース・ジョギングコース・馬術コース）	・地域教育機関への講師派遣 ・SPP(サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト)での講師派遣（事業主体：独立行政法人科学技術振興機構） ・「教員研修モデルカリキュラム・開発プログラム」小・中・高校の教員が対象の指導力向上を目的とする研修への講師派遣・助言指導（独立行政法人教員研修センター委嘱事業）	・地域活性化プロジェクトへの学生参加 ・地域イベントへの本学クラブ出演依頼の受け入れ	・サタデージャンボリー（初夏編・秋編）（地域住民を対象として大学を開放し、実験教室やパソコン体験、ホールでの映画上映会などの他、ダブルダッチや天文同好会などの学生と交流するイベント） ・小学生体験講座（教員による小学生向けの講座）	・民間企業と共催でイベント開催 ・連携協定を締結している教育委員会との共催で教育フォーラムを実施	・各種資格取得講座 ・地域の市立中学校から京都市教育委員会が推進する「生き方探求・チャレンジ体験」（就業体験）の受け入れ ・地域の中学校から大学見学会の受け入れ	・学生自治会が地域住民への案内チラシ配布 ・学園祭の開放	・学部ゼミと地域との共催イベント開催 ・クラブ、サークルが地域の小学校に出向いて、スポーツ指導や交流を行う。 ・ボランティアサークルによる地域老人ホーム等での活動	・地域連絡協議（地元自治会業との協議） ・防災訓練（地域住民と一体となった訓練） ・大学教員の研究による地域特産品の品質の維持・向上 ・京都商工会議所地域活性化推進特別協力委員・北区地域経済懇話会委員として参加
京都女子大学・短期大学部	・ウイングス京都委託講座 ・本学主催の公開講座の開催（一般市民へ無料で）		・地域の事業へのクラブアトラクションとしての参加			・行政・地域住民と自転車交通マナーの啓発運動	・地域住民に対して新聞チラシを入れて参加していただく		
京都精華大学	・アセンブリー講座 ・社会人講座GARDEN	・環境出前講座 ・ISO取得支援			・河和田Art Camp（福井県鯖江市河和田地区） ・中山間地活性化プロジェクトin栄村（長野県栄村）		地域に開放		
京都西山短期大学	・公開講座の開催	・子育て支援団体への講師派遣 ・教育シンポジウムへの協力	・障害者スポーツ大会への学生参加	・ヨーガリラクゼーション	・子育て支援サークルへの会場貸出及び本学学生の参加		・学友会より地域へチラシ配布		
京都創成大学・京都短期大学	・創成市民大学〇〇講座		・国際交流会、人権学習講演、国際理解教室等 ・福知山マラソン		・丹波福知山Bonchi College				

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
京都造形芸術大学	・瓜生山エクステンション講座各種	・北白川小学校の図画工作の授業 ・各エリアにおける高校の授業	・二条城ライトアップ ・小中学校へのボランティア活動	・京都芸術劇場春秋座における各種公演	・アートフェスタin大山崎町2007	・京都文芸復興倶楽部による各種イベント ・藤平陶芸（東山五条）における各種イベント		・北白川小学校夏のキャンプにおけるボランティアスタッフとしての参加 ・小中学校への和太鼓・三味線等の公演活動 ・老人福祉施設への大衆演劇・または和太鼓の公演活動 ・京都市立池田小学校での壁画制作活動	
京都橘大学	・市民向け公開講座を行っている。 ・地元自治体や諸団体との共催による公開講座を行っている。	・生涯学習講座、まちづくりや商業活性化などの事業へ積極的な派遣を行っている。	・商店街や地域諸団体のイベントなどに積極的に参画している。	・看護学部主催による地域住民向け企画「たちばな健康相談」イベントを実施している。 ・児童教育学科主催による地域の親子向け企画「たちばなチビッコランド」を実施している。	・「山科こどもフォーラム」などの企画を共催している。	・山科区や他の民間団体からの委託研究を積極的に受けている。 ・山科地域をフィールドとした教育展開を進めている。	・地域住民に開放している。	・各ゼミ・各学生団体などが積極的に地域をフィールドとして活動している。	・山科商業ビジョン策定委員会、山科経済懇話会などへの委員・アドバイザー派遣。 ・京都山科観光プロジェクトへの委員派遣　など
京都ノートルダム女子大学	・土曜公開講座 ・各種講演会						・学園祭の開放		
京都文教大学	・京都文教公開講座（京都文教短期大学・京都文教大学主催） ・京都eラーニング塾における講座の主催	・京都市産業環境局指定管理者選定委員会委員 ・宇治市都市景観審議会委員 ・宇治市住宅マスタープラン策定委員会委員	・サテライトキャンパス（宇治橋通り）に拠点をおいて宇治を中心とした修学旅行生への観光案内 ・京都市向島ニュータウンの街づくり委員会へ参加して地域の課題に住民と共同で取り組んでいる。 ・地域の菜園に東屋を設置した際に学生が地域住民と共同で建築に当たった。	・人間学研究所主催講演会、シンポジウム ・心理臨床センター主催講演会、シンポジウム	・サテライトキャンパス（宇治橋通り、伏見大手筋）を拠点とした市民団体、NPO、行政との各種イベントの共催 ・「宇治橋通り彩りフェスタ」に実行委員として教職員ならびに学生が参画	・大学附置機関として心理臨床センターが設置されており、心の悩み等を抱えた方の相談に応じている。 ・地域連携を推進する学生プロジェクト活動を公募、採択、助成している。	・学園祭の無料イベントチケットの配布・呼びかけなど	・近隣の夏祭り等へ音楽サークルなどが参加 ・自治会が中心となって地域の清掃活動に参加	・まちづくり等の諸課題に教員が積極的に委員などで参加している。
京都文教短期大学	京都文教公開講座（大短合同）「物語と現代」全8回	「宇治市民大学」市民生活コース講座への講師派遣　2007年度後期5名	・サテライトキャンパス（宇治橋通り）に拠点をおいて修学旅行生への観光案内 ・子育て交流講座・英語講座へのボランティア参加	・「いきいきすこやか講座」前期5講座　後期1講座 ・「あおい講座」後期3講座	・京都文教公開講座の広報と宇治市民大学の講座の広報と相互協力		・2008年度より宇治市民大学のスタッフ学園祭参加 ・福祉施設等の模擬店出店	・サテライトキャンパスでの各種催し ・幼児教育系クラブへの地域イベントでの公演	
京都薬科大学	・京都薬科大学公開講座（本学主催）		・山科夢舞台（山科経済同友会主催）						
種智院大学	・公開講座	・仏教関係の講習会等への講師派遣 ・福祉関係の講習会等への講師派遣	・各ボランティア等				・フリーマーケット等		
成安造形大学	・公開講座（内容は芸術系大学の特色を活かした、講演会・ワークショップ等。年間12回程度開催。原則、予約制・参加無料。）	・地域の自治体・団体等からの依頼により、芸術と文化・芸術と教育・芸術と街づくり等のテーマで講師派遣 ・美術・デザイン等の各種コンテストへの審査員派遣	・地域の自治体・団体・企業等からの依頼により、イベント等への学生派遣（内容は似顔絵制作・壁画制作・雪像制作・ヨシ刈りとそのワークショップ・おもちゃ制作のワークショップ）	・「動物を描こう写生大会」移動動物園を利用した子供向け写生大会。後日、展覧会。 ・「仰木・棚田の写生会」など地元の風景を描く写生会。後日、展覧会。	・「まなびサロン」 大津市と共催、美術・デザインの実技指導 ・「成安音頭」 地元自治会と大学の夏まつりを同時開催	・災害時にグランドをヘリポートとして提供 ・大津市立中学校の職場体験学習の受入	・地域住民によるフリーマーケット・模擬店	・「湖族の郷アートプロジェクト」 地元の商工会と学生の実行委員会によるアートによる町おこしイベント	

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
大阪成蹊大学芸術学部	・子どもたちを対象にしたものつくり講座「子ども未来学校」の名称で、年間8講座。 ・一般市民を対象にした「ものつくり学校」の名称で、年間8から10講座	・幼稚園へ似顔絵描き方指導 ・生涯学習センターや公民館における講演等	・「長岡京市民スポーツフェスティバル」参加 ・「西山をフィールドとした体験型環境教育事業」への参加	・動物とふれ合う親と子の写生会（5月） ・長岡京フラッグアート（8月）		・長岡天満宮フラッグ制作 ・「まちかどトーク」（市との懇談会形式）	・長岡京市公民館サークル連絡協議会（ウクレレ・民舞・ダンス・展示等） ・長岡京音頭保存会（盆踊り） ・めぐみ幼稚園・アゼリアガーデン（展示）	・京丹後市丹後町「間人こころ灯篭祭」参画	・西都開発プロジェクト ・ 京丹後町間人地域の集積活性化支援
聖母女学院短期大学	・「伏見学2007」（全5回：一般市民対象） ・「生活科学講座」（高等学校　家庭科担当教員対象） ・「聖母こどもフェスティバル2008」：講演　絵本のはなし「田島征彦の世界」「第30回卒業作品展」 ・「スウェーデンシルヴィアホームにおける認知症緩和ケアとタクティール」	・要望があれば対応する	・幼稚園・小学校・食関係フォラムへの「食育」講座 ・各ボランティア等（保育園・幼稚園・介護施設等）	・「深草地域ご高齢者との集い」 国際文化学科　国際福祉専攻学生		・町内会の盆おどり、地蔵盆への施設貸与 ・「音楽運動療法」へのリズム室貸与			
同志社大学	・同志社大学公開講座 ・授業の一部公開 ・同志社大学地域講座 ・キリスト教文化センター公開講座 ・「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム（学生支援GP）」事業 ・京町家を拠点にした異世代協同プロジェクト →2つの町家を拠点に学生と地域の＜子どもから大人まで＞が取組 →町家サークル・井戸端会議・季節行事・その他地域文化プロジェクト多数	・出張講義 ・障がい学生支援制度による近隣小学校の人権関連授業への学生スタッフ派遣等 ・近隣小中学校の文化祭等への大学クラブ・サークルからの指導者派遣等	・「学生ボランティア」学校サポート事業 ・学生パワー活用事業 ・学生ボランティア学校支援事業 ・左記GP事業による町内会行事への学生の参加	・寒梅館夏まつり、さくらまつり ・ハーディエンス（ハーディ友の会会員）向けプログラム ・外国文化週間 ・チャペル・アワー ・CLAP（学生と一般参加者のための「うたとお芝居ワークショップ」等） ・WOT（毎週木曜日のハーディーホールプログラム） ・DVDシアター（毎週火曜日のクローバーホールでの映画上映）	・京たなべ・同志社ニューマンカレッジ ・同志社京田辺祭・スポーツフェスティバル ・上京区人権週間への共催等	・アンチェイジングドッグの開設	・京たなべ・同志社ニューマンカレッジ ・同志社京田辺祭・スポーツフェスティバル	・自然環境と調和した経済社会を構築するための里山保全活動ほか多数	
同志社女子大学	・同志社講座 ・同志社女子大学講座 ・シェイクスピア・プロダクション ・日本語日本文学科公開講座 ・音楽学科定期演奏会 ・オペラ講演 ・情報メディア学科講演会 ・同志社女子大学・京町家文化館共催講演会「町家で学ぶ京都の歴史と文化」 ・現代社会学部講演会　国際教育フォーラム ・現代社会学部講演会　地球のステージ ・薬学部講演会 ・生活科学部講演会 ・総合文化研究所公開講演会							・地域イベント等出演依頼への対応	

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
花園大学	・ミステリ講座 ・早朝座禅 ・京都学講座 ・その他	・地域保育研究会 ・寺院主催研究会 ・その他	・子供大会	・学園祭 ・創立記念講演会	・全国社会事業協会との講演会				
佛教大学	・四条センターにおける市民講座・パネル展示・体験講座の公開並びに学術シンポジウム・セミナーの開催 ・福祉教育開発センターによる介護ヘルパー2級養成講座や音楽療法講座の開催 ・総合研究所における市民向け公開講座・講演会・討論会・シンポジウムの開催 ・アジア宗教文化情報研究所におけるシアター公演・公開講座・講演会並びに文化財展覧		・地域住民や商店街と一緒になって、地域の夏祭りや行事に多くの学生や大学関係者が参加。 ・連携協定を結んでいる地域での田植え活動や稲刈り・収穫活動に学生が参加。 ・学生による商店街での起業活動や地域新聞の発行。	・学内ホールで「狂言」開催		・臨床心理学研究センターにおける子供から成人・老人に至るまでの精神的健康にかかわる相談、公開講演会、シンポジウムの開催。 ・教育委員会や地域社会と協定を結び、小学校や地域に教育ボランティアを派遣。 ・ボランティア室による学生・教職員によるボランティア活動の支援。	・連携協定を結んでいる地域が学園祭に参加・交流。	・連携協定を結んでいる地域が大学が実施しているインターンシップの受入を行い、学生が就業体験。	
平安女学院大学・短期大学部	・11月29日平安女学院大学公開講座「なにくそ、負けるものか！」（大学主催、後援：高槻市、高槻市教育委員会） ・高槻市大学交流センター事業　平安女学院大学子育て支援講座（全7回）　他	・国際ソロプチミスト高槻主催公開講座講師	・学生有志「ちょこっとボランティア委員会」が高槻市地域コミュニティセンター子ども夏休み教室等、多数の行事に参加 ・吹奏楽部、大学祭実行委員会の地域イベント（夏まつり等）への出演、出店	・クリスマスカンタータ（キリスト降誕を祝う無言劇）1988年よりオーケストラ部門で高槻市民も参加（総勢260名）	・高槻商工会議所共催「寒天コンテスト」（地域名産品「寒天」を使った料理コンテスト本年度第3回目） ・高槻商工会議所共催「たかつき産学連携フェア和“なごみ”「鵜殿ヨシ・ヨシ紙アイデアコンテスト2007」	・高槻市地域子育て支援拠点事業ひろば型運営施設に採択され　つどいの広場「どんぐりの森」運営	・近隣住民への案内（300円の金券プレゼントなど）	・左記「地域の事業への学生参加」に同じ	
明治鍼灸大学・医療技術短期大学部									
立命館大学	・立命館土曜講座 《BKC》 ・立命館びわこ講座 ・淡海生涯カレッジ ・環びわこ大学コンソーシアム県民向け公開講座	《BKC》 ・草津市への各種事業への講師派遣 ・滋賀県の各種事業への委員派遣	・クラブやサークルといった課外活動団体が、県/市が主催する記念式典等でパフォーマンスを行ったり、市と大学の連携協定に基づく交流を深めるほか、「草津宿場まつり」といった市の祭に実行委員として関わっている。また、県の奨める小学校を対象にした「理数大好き授業」では、学生が体験授業を行うなどの交流を深めている。 （例）経営学部プロジェクト団体・丹後村おこし開発チームが、京都府宮津市上世屋地区において地元のNPO団体と連携した地域活性化・里山文化の伝承・笹葺き民家再生に取り組んでいます。 （例）大学新聞社：2006年度より京都市北区役所市民しんぶん北区版「いきいき北区」にボランティア記者として参加しています。	《BKC》 ・2001年度より、BKCの学生課外活動団体の主催による、大学近隣の小学生に自ら学ぶ楽しさを知ってもらう体験学習の機会として、小学生および父母を対象とした「立命の家」という企画を実施している。 ・2007年度の「立命の家」では、工作キットの組み立てと実験、英語の神経衰弱ゲーム、ソフトウェアのプログラミング、また教室に特設したプラネタリウムでの星座観察などのプログラムを実施した。	・「理数大好きモデル地域事業」（事業主体：科学技術振興機構（JST）、滋賀県教育委員会） ・京都歴史回廊プログラム（平成18年度現代GP採択） 《BKC》 ・立命館びわこ講座（草津市、草津市教育委員会　共催） ・淡海生涯カレッジ（滋賀県、湖南市狂句委員会　共催）	・地域活性化ボランティアプログラム（平成17年度現代GP採択） 《BKC図書館》 ・夏期、冬期、春期休暇中の滋賀県下及び近隣府県中学校・高校生への図書館公開（館内閲覧・学習のための利用可） ・草津市立中学校職場体験学習の受入	《衣笠》 ・参加型企画（ミニゲーム・クイズ）を多数設けています。今年度は、「灯篭」の設置を企画。来場者にメッセージを記入してもらい、その用紙を張り合わせて作成します。また、学園祭前はキャンパス周辺の地域の方々にご案内を配布し、学園祭後は周辺の清掃活動を行っています。また、毎年地域の方も参加される恒例のマラソン大会を学園祭当日に実施しています。 《BKC》 ・子供向け迷路を作成、家族での参加が可能 ・大学近隣の町内会や市の観光協会による学園祭での模擬店出店 ・地域住民による学園祭でのフリーマーケットの出店 ・学園祭実行委員会として地域のお祭の手伝い等実施	学生オフィスが窓口となり、地域からの交流受付を行っています。2006年度実績では、衣笠・BKC合わせて約300件実施されています。落語研究会・マジックプレイヤーズ・けん玉研究会・アメリカンフットボール部など多くのサークルが地域のイベントに参加しています。また、囲碁研究部・将棋研究会・合唱系サークル等が小学校や中学校とも連携し文化の普及のため子供たちに指導を行っています。	《BKC》 ・草津市や守山市の各種委員会への委員派遣

	市民公開講座（大学等主催）	地域の事業への講師派遣	地域の事業への学生参加	大学で開催される地域を対象としたイベント	地域との共催事業	その他の事業	学園祭への地域の参加	ゼミ・サークルでの地域交流・連携	地域課題解決に向けた研究者の支援
龍谷大学・短期大学部	・RECコミュニティカレッジ ・龍谷講座 ・顕真館公開講座	・地方自治体の生涯学習事業などへの講師派遣（複数の地方自治体と実施しています。）	・稲荷・砂川地域の一斉清掃活動への参加	・夕照コンサート（地元の小学生・中学生・高校生や社会人の吹奏楽団体等の方々と、本学吹奏楽部のジョイントコンサートとして、1993年から瀬田キャンパスで開催。このコンサートは近江八景の一つの「瀬田の夕照」にちなみ「夕照コンサート」と名づけられ、地域の方々と本学学生や教職員の音楽を通じた交流の場となっている。） ・キャンパスツアー（本学学生がガイドとなって、重要文化財建築群の大宮キャンパスや、西本願寺の国宝建築を案内。また深草キャンパスでは、学生サークルによる演奏会などを披露。）		・無料法律相談（法学部の創設（S43）を機に、法学研究成果の社会への還元と地域社会への奉仕を図るために開設。以来、地域住民の方はもとより、広く京都市民から日常的な法的問題に関する助言の場として活用されている。さらに1971年からは年1～2回、各地に巡業して無料法律相談を行い、大学近隣に留まらず、全国各地の開催地住民に対しても法的問題を解決するための機会を提供している。	・地域住民によるフリーマーケット	【教育関係】 ・社会学部が実施する「大津エンパワねっと」構想 ・短期大学部が実施する「体験型学習で学ぶ『共に生きる地域づくり』」 ・経済学部が実施する地域活性化プロジェクト 〈2007年度実施科目〉 〇京都ものづくり活性化PJ－地域の物作り産業の実態と活性化策の作成－ 〇地域活性化PJ新・京都学－京都の伝統産業の実態と構造－ 〇地域活性化PJ伏見学－地域経済の衰退の原因をさぐり再生プランを立案する－ 〇地域活性化PJ西本願寺門前町－西本願寺門前町とフィールドとした町づくり実践－ ・経済学部にサービスラーニングセンターを設置 ・ゼミ活動をとおした地域ブランド支援（地域農産物のブランド化） 【サークル関係】 ・ラグビー部、アメリカンフットボール部などのスポーツ系サークルによる子ども向けスポーツ教室 ・学生サークル「宗教教育部」による日曜学校 ・学生サークル「野外活動部」におけるNAC（西浦アドベンチャークラブ） 【その他】 ・卒煙シンポジウム開催実行委員会 ・京都三条ラジオカフェ聴取調査大学合同チーム ・伏見区内でベロタクシー試乗会、自転車のまちづくりのシンポジウムの開催	本学が設置する社会科学研究所等において、「指定研究」「共同研究」「個人研究」を募集し、財政面を含めて各研究プロジェクトを支援している。その中には地域課題解決などをテーマにした取組も含まれている。 例）「都市のにぎわいと生活の安全に関する経済学的研究：京都市とその周辺地域を対象とした事例研究」など
大阪医科大学	・本学市民公開講座 ・高槻市事業交流センター事業市民講座								

４．大学地域連携モデル創造支援事業

■趣旨・目的

京都市では「大学のまち・わくわく京都推進計画」に基づき、2004 年度から大学と地域との連携による取組に助成金を交付する「大学地域連携モデル創造支援事業」を実施してきた。この事業は、大学にとっては実践的な教育・研究機会の確保による人材の育成などを、地域にとっては、大学の研究成果等による課題解決などを促進すること、及びこの取組を各区基本計画にある個性を活かした魅力ある地域づくり事業と関連付けることで、各区基本計画の推進に役立てるとともに、事業成果を広く市民に周知することにより、大学と地域との連携をより促進することを目的とする。

■2007 年度認定事業

行政区	事業名	大学
北区	紫明まちづくりプロジェクト～マルチメディアによる情報配信～	大谷大学
左京区	大原アートネットワーク事業－「大原地域文化祭」の開催と「大原文化資料館」づくり	同志社大学
中京区	三条まちなか連携にぎわいルネッサンスプロジェクト	京都工芸繊維大学
中京区	本能のまちに咲くのれんの華	京都府立大学、立命館大学
中京区	まちなか授業「ポジティブメーク」	池坊短期大学
東山区	近代産業遺産アート再生プロジェクト「まか通」	京都造形芸術大学
下京区	祇園祭綾傘鉾をもりあげる京都学フィールドワーク	佛教大学
西京区	大枝０３	京都市立芸術大学
西京区	洛西ニュータウン・まちづくり活動ネットワーク構想	京都大学
伏見区	伏見・風とお日さまエネルギー・プロジェクト－地域企業との連携による環境教育計画－	龍谷大学

■2006 年度認定事業

行政区	事業名	大学
中京区	市民合意型の美しい都心界隈の景観ルールづくり	立命館大学
北区	七夕まつり IN 上賀茂神社	京都産業大学
右京区	愛宕古道街道灯し	京都嵯峨芸術大学
左京区	生ごみコンポストによる都市型コミュニティモデルづくり	京都府立大学
伏見区	伏見砂川・バリヤーフリープロジェクト～地域福祉の視点からみた砂川学区まち歩き～	龍谷大学
東山区	「緑」の交流	京都女子大学
下京区	人づくり・町づくりプロジェクト―地域住民主体の京都駅周辺地域活性化計画	龍谷大学
下京区	祇園祭綾傘鉾をもりあげる京都学フィールドワーク	佛教大学

右京、上京、南区	地域連携フィールドワーク	立命館大学

■2005 年度認定事業

行政区	事業名	大学
伏見区	高大連携☆Fushimi サイクリングツアープロジェクト	龍谷大学
南区	向こう三軒両隣ー安全安心の数珠つなぎマップ作成	立命館大学
下京区	GARE 門前町活性化プロジェクト	龍谷大学
左京区	多世代の交流による参加型造形ワークショップ	京都造形芸術大学
上京区	京都どまんなかー未来へ伝える上京知恵袋プロジェクト	同志社大学
北区	アニマルセラピーへのとりくみ	京都産業大学
右京区	梅津再発見！	立命館大学
右京区	愛宕古道街道灯し	京都嵯峨芸術大学
下京区	ビオトープ梅小路公園いのちの森での自然体験学習	
右京区	太秦ヌーヴェル・ヴァーグ・プロジェクト	京都嵯峨芸術大学

■2004 年度認定事業

事業名	大学
「関西女性と希望のアーティストファイル：移動アーツ計画」	京都橘女子大学
「ＳＭＡＰ計画採択事業『チーム・たまり場』『移動元気』」	龍谷大学

５．国公私立大学を通じた大学教育改革の支援

文部科学省が実施している「国公立大学を通じた大学教育の支援」に採択された取組のうち、大学と地域連携関連のプログラムを以下に紹介する。

（１）特色ある大学教育支援プログラム

採択年度	大学	テーマ
2003	京都造形芸術大学	多地域・多世代の交流による教育プログラム
2004	京都精華大学	自立した学習者による社会貢献の実践教育
2005	立命館大学他	産官学地域連携による人材育成プログラム
	京都精華大学	伝統産業を軸とした地域連携教育の実践
2006	龍谷大学短期大学部	体験型教育で学ぶ「共に生きる地域づくり」
2007	京都文教大学	現場主義教育充実のための教育実践

（２）大学院教育改革支援プログラム

採択年度	大学	テーマ
2007	龍谷大学	NPO・地方行政研究コース

（3）「魅力ある大学院教育」イニシアティブ

採択年度	大学	テーマ
2005	京都大学	理論・実践融合型による教育学の研究者養成
	同志社大学	ソーシャル・イノベーション研究コース
	京都大学	社会との協創による情報システムデザイン
2006	京都大学	臨地教育研究による実践的地域研究者の養成
	立命館大学	ローカル・ガバナンスの政策実践研究

（4）現代的教育ニーズ取組支援プログラム

採択年度	大学	テーマ
2006	京都工芸繊維大学	創造性豊かな国際的工科系専門技術者の育成
	京都府立医科大学	大学・地域一体型チーム地域医療教育
	同志社大学	公募制のプロジェクト科目による地域活性化
	立命館大学	人文学的知の地域還元で変わる歴史都市京都
2007	龍谷大学	学生力と地域力を相互に高めあう教育実践
	京都工芸繊維大学	京都ブランドによる人材育成と地域創成
	立命館大学	映像文化の創造を担う実践的教育プログラム
	立命館大学	琵琶湖で学ぶ MOTTAINAI 共生学

（5）社会人の学び直しニーズ対応教育推進プログラム

採択年度	大学	テーマ
2007	京都大学	キャリア女性の再チャレンジ＝起業を支援する短期集中教育プログラム
	同志社大学	ソーシャル・イノベーション型再チャレンジ支援教育プログラム
	同志社大学　立命館大学　他	団塊世代が活躍するための地域貢献型社会起業家養成プログラム

（6）新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム

採択年度	大学	テーマ
2007	同志社大学	地域コミュニティによる学生支援方策
	佛教大学	『縁』コミュニティによる離脱者ゼロ計画
	京都外国語短期大学	即戦力となる人材育成のための学生支援
	京都経済短期大学	地域の中で世界を感じる

6．地域―大学の交流・連携支援ライブラリー

（1）地域―大学の交流・連携支援ライブラリーとは

地域―大学の交流・連携支援ライブラリーは、国土交通省の事業として実施されており、

地域、大学等を巡る現在の状況を踏まえ、学園計画地ライブラリー（以下、「旧ライブラリー」という。）の機能転換を図ったものである。

旧ライブラリーは、大学・短期大学などの高等教育機関の立地を円滑にし、その適正配置を促進するため、1980 年に国土庁に設置され、新増設または移転の意向のある大学等に対し、キャンパスの候補地を紹介する業務を行ってきたものである。旧ライブラリー発足時から 2001 年末までに大学の立地が具体化あるいは具体化予定の計画地は 129 地区に上り、大学等高等教育機関と地域社会との双方に貢献してきた。

しかしながら現在、大学等高等教育機関の立地については、依然として多くの地方自治体において誘致等を目指しているものの、近年の財政状況の悪化や今後の 18 歳人口の減少を踏まえれば、ますます困難な状況になりつつある。

このような状況下において、大学等は地域との連携により、その機能（施設・研究・カリキュラム・教職員・学生等）を多面的に活用し、地域の発展を図る活動をキャンパス所在地のみならず、広く他地域において展開しつつあり、こうした活動については、地域社会においても、地域活性化の一方策として積極的に取り組もうとする動きが増えつつある。

このような地域と大学等を巡る状況を踏まえ、旧ライブラリーの機能転換を図り、地方自治体、大学等の関係者に役立つものとするために、2002・2003 年度にヒアリング、アンケート等による実態調査（「大学機能活用の将来像に関する調査」）を行い、その中で専門家による委員会（「大学機能の将来像と地域連携に関する委員会」）を設置し、今後のライブラリーのあり方について検討を行った。

この２年間における検討結果を踏まえ、従来の大学等の立地に関する情報提供に加え、地域と大学との連携に関する新たな情報を付加するとともに、地域と大学等との情報交流の場となるようホームページを開設したところである。

（２）主な内容

地域側、大学側双方がお互いに必要な情報を提供し、かつ閲覧できる仕組みの構築

＜地域側からの提供情報＞

・大学等との連携・交流により解決したい政策課題

・大学等との連携事例　等

＜大学側からの提供情報＞

・地域との交流・連携窓口

・地域との連携が可能な専門分野・教員

・地域との連携事例　等

＜地域と大学との連携事例集＞

＜地域と大学との連携に利用可能な各種施策＞

＜大学のキャンパスやサテライト等の誘致に関する土地・建物情報＞

京都地域における情報としては、＜地域側からの情報提供＞の項では、京都市総合企画局プロジェクト推進室、長岡京市企画部政策推進課、京田辺市総務部総務課、園部町企画情報課、京都府企画環境部企画参事、亀岡市企画管理部企画課、八幡市政策推進部秘書政策室政策推進課、＜大学側からの提供情報＞の項では、種智院大学総務課、京都学園大学総合研究所、京都文教大学総務課、平安女学院大学学長室、京都情報大学院大学事務室、

京都橘女子大学学術連携推進室リエゾンオフィス、同志社大学　リエゾンオフィス、＜地域と大学との連携事例集＞では大学コンソーシアム京都の事例が紹介されている。

ただし、2005 年度以降更新されていない。

７．都市再生プロジェクト「大学地域連携まちづくりネットワーク」

（１）大学地域連携まちづくりネットワークとは

○　大学は、地域にとって、まちづくりを進める上での貴重な資源であり、重要なパートナーである。まちづくりの課題に関する研究・教育、まちづくりを支える人材育成、社会人教育、都市の賑わい・活力の源泉である学生の存在とそのエネルギー、留学生等との国際交流の機会の提供、まちづくりと調和したキャンパスの形成、施設開放など、大学は地域にとって多面的な存在価値があり、これらをまちづくりに活かすことが求められている。

○　また、大学側にとっても、地域への貢献を通じ、地域における存在価値・評価を高めることができ、地域を教育のフィールドとして活用することにより、特色ある実践的・効果的な教育を行うことができる。大学自身が地域に支えられる存在であり、地域社会の活性化は大学の活性化のためにも必要といえる。

○　さらに、大学の地域貢献への取組に対して、地域が、活動の場やまちの既存ストックの積極的な提供、地域に出ていく学生に対する理解と暖かいもてなし等により支援することにより、競争力の強化を目指す大学と自立・発展を目指す地域の双方が共に発展し地域全体の活力が向上する好循環が構築される。

○　このため、総理を本部長とする政府の都市再生本部は、2005 年 12 月に、「大学と地域の連携協働による都市再生の推進」を都市再生プロジェクトとして決定し、政府としてこうした取組の促進を図ることとした。

（２）主な内容

① 参加者間でのメーリングリストによる情報・意見交換：参加者間でメーリングリストを開設し、各地域の取組等に関する情報・意見交換を電子メールにより行った。

②実際に集まっての情報・意見交換　：まちづくりに関する全国大会等において、希望者が集まり、情報・意見交換を行った。

- ○ 全国都市再生まちづくり会議
- ○ 学生まちづくりサミット
- ○ 全国学生まちづくりフォーラム

③アンケート調査および講演会

現在、アンケート調査の結果として下記のものが Web 上で公開されている。

- ○ 大学と地域との取組実態についてのアンケート調査（追加調査）
  （内閣官房都市再生本部事務局が全市区町村を対象に 2007 年 4 月に実施）
- ○ 大学と地域との取組実態についてのアンケート調査
  （内閣官房都市再生本部事務局が全市区町村を対象に 2005 年 7 月に実施）
- ○ 大学と連携した地域づくりのための取組に関するアンケート
  （総務省が東京都特別区および政令指定都市を除く全市町村を対象に 2005 年 11

月に実施）

（３）京都地域の参加団体・大学等

京都市、龍谷大学、(財)大学コンソーシアム京都、京都経済短期大学、京都・まいづる立命館地域創造機構、京田辺市、同志社大学、木津川市、精華町

８．大学と地域との連携窓口一覧

（１）各行政区の基本計画担当窓口一覧

行政区	担当課	電話番号
北区	区民部総務課	075-432-1181（代表） 075-432-1199
上京区	区民部総務課	075-441-0111（代表） 075-441-5029
左京区	区民部総務課	075-771-4211（代表） 075-771-4235
中京区	区民部総務課	075-812-0061（代表） 075-812-2421
東山区	区民部まちづくり推進課	075-561-1191（代表） 075-561-9104
山科区	区民部総務課	075-592-3050（代表） 075-592-3066
下京区	区民部総務課	075-371-7101（代表） 075-371-7163
南区	区民部まちづくり推進課	075-681-3111（代表） 075-681-3417
右京区	区民部総務課	075-861-1101（代表） 075-861-1784
西京区	区民部総務課	075-381-7121（代表） 075-381-7158
伏見区	区民部総務課	075-611-1101（代表） 075-611-1295

（2）各大学の地域連携窓口一覧

大学名	地域連携のための窓口を一本化している	取組により窓口が異なる						その他	代表電話番号
		生涯学習	高大連携	施設の利用	地域イベントへの教員派遣	地域イベントへの学生派遣	研究交流		
京都大学		企画部　社会連携推進課	教育推進部　教務企画課				研究推進部　産学官連携課		075-753-2225
京都教育大学		企画広報課	入試課	会計課		学生課			075-644-8100
京都工芸繊維大学		学務課（総合教育センター）	学務課	財務課			研究協力課		075-724-7023
京都市立芸術大学	教務課 （※右記「その他」参照）	教務課	教務課	総務課	総務課(リエゾン・オフィス), 教務課	総務課(リエゾン・オフィス), 教務課	教務課	※事業内容によって他部署と連携して対処するが、教務課でのワンストップ相談体制をとっている	075-334-2200
京都府立大学								取組により窓口が異なる	075-703-5101
池坊短期大学				総務部エクステンション担当	地域連携推進室 教務部	地域連携推進室 学生支援部			075-531-8581
大谷大学・短期大学部		教育研究支援課	企画室	総務課	企画室	学生課	教育研究支援課		075-432-3131
華頂短期大学			入学センター	事業管理部	学生センター 教務課	学生センター 学生生活課			075-551-1600
京都外国語大学・短期大学		京都ラテンアメリカ研究所							075-322-6012
京都学園大学		総合研究所	リエゾンセンター	施設課	総合研究所	総合研究所	総合研究所		0771-22-2001
京都経済短期大学	資源活用推進課								075-331-3159
京都光華女子大学・短期大学部		エクステンションセンター	入試部	図書館、学園運営部総務グループ	各学科	各学科		カウンセリング：カウンセリングセンター	075-753-7531
京都嵯峨芸術大学・短期大学部		文化事業課	入試課・文化事業課	総務課	各学科等	学生課	芸術文化研究所	受託事業：文化事業課	075-864-7858
京都産業大学		連携推進室	連携推進室	管財部	連携推進室 教員直接	学生部	リエゾンオフィス事務室	地域連絡協議：総務部 防災訓練：管財部 資格取得講座：キャリア教育研究開発センター事務室	075-705-1513
京都女子大学・短期大学部		教学課学術振興係	入学センター	総務課	教学課 各学部事務室	学生生活センター	教学課		075-531-7030
京都精華大学		文化情報課	入試課	環境施設課	企画室 学長室	企画室 学長室 学生課	企画室 学長室		075-702-5317
京都西山短期大学		総務課	総務課	総務課	総務課	学生厚生課			075-951-0023
京都創成大学・京都短期大学		特定していない	入試広報課	総務課	特定していない	学生課	特定していない		0773-24-7100
京都造形芸術大学		瓜生山エクステンションセンター	芸術教育推進室 （入学広報課内）	図書館のみ	リエゾン室 （教学事務室内）	リエゾン室 （教学事務室内）	各学科、研究室		075-791-9122
京都橘大学		エクステンションセンター	教務課	総務課	学術連携推進室リエゾンオフィス	学術連携推進室リエゾンオフィス	学術連携推進室リエゾンオフィス		075-571-1111

大学名	地域連携のための窓口を一本化している	取組により窓口が異なる						その他	代表電話番号
		生涯学習	高大連携	施設の利用	地域イベントへの教員派遣	地域イベントへの学生派遣	研究交流		
京都文教大学		研究支援課	学園連携推進室	総務課	フィールドリサーチオフィス 総務課・研究支援課	フィールドリサーチオフィス 学生課	研究支援課		0774-25-2400
成安造形大学		附属芸術文化交流センター	入試計画室	総務課	附属芸術文化交流センター	附属芸術文化交流センター	附属芸術文化交流センター	産学連携：附属芸術文化交流センター	077-574-2111
大阪成蹊大学芸術学部		総合教育研究支援センター 生涯学習委員会	総合教育研究支援センター 高大接続教育委員会	総務課	総合教育研究支援センター 当該研究室	総合教育研究支援センター 学生部・当該研究室	総合教育研究支援センター 国際交流委員会	産学連携：総合教育研究支援センター・産官学連携委員会・当該研究室	075-953-1111
同志社大学		企画課	教育開発センター	施設により異なる	教育開発センター	学生支援センター	リエゾンオフィス		075-251-3110
同志社女子大学		企画課	入学センター・企画課	施設課	総務課 各研究室事務室	総務課・学生課 各研究室事務室	学術研究推進センター		0774-65-8411
花園大学		企画広報室	企画広報室	庶務管理課	企画広報室	企画広報室	総務課		075-811-5181
明治鍼灸大学・医療技術短期大学部		教務チーム	広報チーム	庶務チーム	庶務チーム		庶務チーム		0771-72-1180
立命館大学			《共通》共通教務課・教育文化事業課 《BKC》BKCキャンパス事務課	高大連携課	《衣笠》衣笠キャンパス事務課 《BKC》BKCキャンパス事務課	《BKC》BKCキャンパス事務課	学生オフィス	（リサーチオフィス）	075-465-1111
龍谷大学・短期大学部	REC（Ryukoku Extension Center）		高大連携推進室					ボランティア活動・NPO活動：ボランティア・NPO活動センター	075-642-1111
大阪医科大学								窓口なし	

※本事例集での公表を“可”と回答した大学・短期大学のみ掲載

以上

地域と大学連携のケーススタディ

2008 年 3 月

大学のまち京都推進会議

〒600-8216 京都市下京区西洞院通塩小路下る キャンパスプラザ京都
財団法人大学コンソーシアム京都
TEL 075-353-9100
FAX 075-353-9101
URL http://www.consortium.or.jp